

生命薬科学科カリキュラムマップ

1 年		2 年		3 年		4 年		ディプロマポリシー (学位授与の方針)
前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
★哲学 ★文章の表現Ⅰ ★社会の仕組Ⅰ ★健康スポーツ（実技） 数学Ⅰ 英語（通年） ★ドイツ語Ⅰ ★フランス語Ⅰ	★文章の表現Ⅱ ★社会の仕組Ⅱ ★現代の社会Ⅰ ★健康科学（講義） 数学Ⅱ ★ドイツ語Ⅱ ★フランス語Ⅱ	★倫理学 ★総合文化研究Ⅰ ★現代の社会Ⅱ ★科学史	★論理学 ★総合文化研究Ⅱ	★医療倫理入門	英文論文講読			
★情報科学Ⅰ 英会話Ⅰ ★こころの科学Ⅰ	情報科学Ⅱ 英会話Ⅱ ★こころの科学Ⅱ キャリア開発講座	情報科学Ⅲ	★キャリア支援講座	★インターンシップ	（医薬品開発概論）	（卒業研究）	（卒業研究）	
生物学	生理学Ⅰ 生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 生命科学概論	生理学Ⅱ 生化学Ⅲ 分子遺伝学 ★細胞工学概論 ★実験動物学	生理学Ⅲ 生命科学論文講読 ★生体分子構造学 病原微生物学Ⅰ 免疫学 ★分子細胞生物学 ★酵素生物学	遺伝子工学 中毒学 生物統計学 ★病原微生物学Ⅱ ★細胞情報学 ★環境衛生学 栄養化学	★最新生命科学 ★臨床検査学概論 ★ゲノム情報学	★放射線生物学	（卒業研究）	
基礎科学 無機化学 薬科学概論 物理学Ⅰ 原子と分子の構造 化学	有機構造化学 分析化学Ⅰ 物理学Ⅱ 化学熱力学	有機反応化学Ⅰ 物質科学論文講読 分析化学Ⅱ 化学反応速度論 生薬学Ⅰ 薬理学Ⅰ	有機反応化学Ⅱ 衛生化学 機器分析学 ★放射化学 生薬学Ⅱ 薬理学Ⅱ	有機反応化学Ⅲ ★薬品資源学 ★医薬品試験法 ★アドバンス有機化学 薬理学Ⅲ 薬理学Ⅳ 薬物動態学Ⅰ 疾病と治療Ⅰ 製剤工学概論	有機反応化学Ⅳ 臨床分析化学 ★医薬品分子設計学 ★分子医薬化学 ★医薬品開発概論 薬理学Ⅴ 薬物動態学Ⅱ 疾病と治療Ⅱ 製剤学 薬品毒性学 薬物管理概論	★香粧品学 ★公衆衛生学 ★分子標的薬概論 ★コンピューター化学 ★最新天然物化学 薬事関連法規	（卒業研究）	
	基礎生物学実習 基礎化学実習	衛生系実習 有機化学系実習	物理化学・分析系実習 薬品合成・天然物系実習 微生物学系実習	薬理学系実習 分子生物学系実習	卒業研究	卒業研究	卒業研究	5. 課題発見と解決 「われら真理の扉をひらかむ」の建学の精神のもと、常に真理を探究する姿勢を忘れず、自ら課題を求め自分の力で解決できる。
大学基礎論 ★生物学・物理学演習Ⅰ ★化学演習 （こころの科学Ⅰ）	★数学・物理学演習Ⅱ （キャリア開発講座） （こころの科学Ⅱ）	（情報科学Ⅲ） ★物理化学演習 ★有機化学演習	（キャリア支援講座）	（医療倫理入門） （インターンシップ）	（臨床検査学概論）	（卒業研究）	（卒業研究）	6. 自己研鑽 生涯に亘って科学・医療の進歩の恩恵を社会で暮らす人々に提供できるよう、高い学習意欲を持って自己研鑽を続けることができる。

1. 教養と倫理
薬学・生命科学に携わる人としての豊かな教養と人間性を備え、生命の尊厳について深い認識をもち、社会で自身が果たす役割に対する使命感、責任感を身につけている。

2. 情報発信とコミュニケーション
薬学・生命科学の研鑽を積んだ者として積極的に社会と関わりを持ち、幅広い分野で自ら情報収集・分析を行い、その成果を効果的に発信できる。

3. 生命科学領域の専門性
医薬品とその関連物質の生体に対する作用を理解し、ゲノム創薬や生命科学の追求に不可欠である生化学、分子生物学、遺伝子工学等に関する専門的な知識と技能を身につけている。

4. 創薬を担う力
創薬研究の基礎となる物理・分析化学、有機化学、衛生化学、免疫学、薬理学、薬剤学、薬物治療学等に関する専門的な知識と技能を身につけている。